芭蕉元禄事業　奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十一年三月度　入選句（投稿総数三千九百十三句・小中学投句数三千三百二十四句）

選者　遠藤　幹郎

特選

じゃれつくよ愛犬サリー春の風　大垣市　小島　健（小五）

一句のしらべ（調子）がとてもいいですね。作者と愛犬サリーの結びつきの強いことが、冒頭の「じゃれつくよ」からよくわかります。下五に、「春の風」（南の方から吹く、暖かくおだやかな風を指す春の季語）をもってきたことで、一層、この句を引き立てています。犬好きの作者だからこそ、この一句が生まれたのでしょう。

落椿あわいピンクのカーペット　大垣市　香田　衣里奈（小六）

落椿（おちつばき）は、花全体が音を立てて地面に落ちるのが特徴です。色彩豊かな一句です。花は紅色、淡紅色、濃紅紫色、白色などがある中で、作者はあわいピンク色の花が根元一面にじゅうたんを敷きつめたように落花しているさまを鮮やかに詠い上げています。読み手にもその情景が目に浮かぶようです。

ひるがえすたんぽぽ色のワンピース　美濃加茂市　今次　七海（中二）

たんぽぽ（春の季語）は、野原や道端、土手などに三～五月ごろ、黄色の花を咲かせます。作者は、この黄色のワンピースを着た女の子の裾（すそ）を風がひるがえす様子をとらえて一句に仕立て上げました。ひるがえす風もまた、春の風に違いありません。たんぽぽの咲いている様子をよむのでなく、たんぽぽ色のワンピースと詠んだところがユニークです。

秀逸

春一番季節の足音告げてくる　美濃加茂市　深澤　幸也（中二）
めざましが鳴る前起きるバレンタイン　美濃加茂市　竹下　葵（中二）
つくしさんあおぞらむかってせのびする　大垣市　ひびの　はるく（小三）
ミツバチがくるんとまわってみつさがし　大垣市　久保田　華帆（小三）
せい服のそでまだ長い入学式　大垣市　牛田　帆香（小四）
父からのホワイトデーのプレゼント　大垣市　炭竃　玲亜（小五）
お母さんおたんじょう日がひなまつり　大垣市　川地　こうき（小五）
しゃぼんだま私のゆめも飛んでゆけ　大垣市　伊藤　希彩（小六）
たんぽぽが命を次につないでる　大垣市　松岡　朋葉（小六）
シャボン玉空をうつして消えてゆく　大垣市　清水　もも（小六）

入選

家の中ならんでいるよおひなさま　美濃加茂市　佐伯　知奈乃(中二)

チューリップ風といっしょにおどってる　大垣市　久富　洸瑠(小三)

あおぞらにしゃぼんだまがとんでくよ　大垣市　伊藤　杏(小三)

春ぅららはいく作りにでましたよ　大垣市　おか田　そら(小三)

ろくねんせいそつぎょうしきでないている　大垣市　くぼた　じゅんや(小三)

春がきた生きものたちがめをさます　大垣市　田中　昭成(小四)

ちょうちょさんまってよまってとまってよ　大垣市　小野　薫乃(小二)

かざぐるまかぜがいっぱいよくまわる　大垣市　種田　勇真(小三)

とりのすにつばめの赤ちゃん生まれたよ　大垣市　齋藤　心里(小三)

春風が二人の話をぬすみ聞き　大垣市　山田　芽維(小六)

入選

ねこのこいねむりたいのにねむれない　大垣市　今村　心優(小六)

うぐいすの鳴きごえまねたくちぶえで　大垣市　前川　政季(小三)

おひなさまわたしとにてるかおがある　大垣市　大嶋　蒼乃(小三)

おひなさまぼくのみらいのおよめさん　大垣市　富田　凱翔(小三)

はるのつきでっかくまるくひかるんだ　大垣市　たじま　えいと(小三)

チョコレートこっそりいれたげたばこに　大垣市　野原　柑南(小三)

春の月手をのばしたらとどきそう　大垣市　なるせ　ゆうしん(小四)

雨上がり水たまりには春のにじ　大垣市　佐々木　唯名(小五)

日がてってぐんぐんのびるつくしさん　大垣市　鈴木　香帆(小六)

春風が私の心なごませる　大垣市　岡田　真依(小六)

選者吟

茅葺きの藩老旧居梅匂ふ　幹郎